

課名	項目	内容
総務課	前島小学校閉校記念碑の設置	<p>平成26年4月に統合となった前島小学校・久茂地小学校のうち、前島小学校閉校記念碑を統合を経験した最後の児童（那覇小学校第5期生）の卒業にあわせ那覇小学校内に設置し、児童による除幕式を平成31年3月7日に開催した。</p> <p>記念碑は児童のアイデアをもとに製作され、前島小学校・久茂地小学校（令和3年度久茂地小学校跡地に設置予定）記念碑にそれぞれ切れ込みが入り、組み合わせてひとつとなるようデザインされ、学校の歴史とともに児童の思いもこもった証を残すことができた。</p>
生涯学習課	那覇市真和志南地区活き活き人材育成支援施設の名称決定	<p>令和2年4月開館予定の「那覇市真和志南地区活き活き人材育成支援施設」の愛称について、令和元年7月1日から8月15日までの期間募集を行った。</p> <p>48名・61件の応募があり、愛称を、ウチナーグチで「回る」「巡る」を意味し、人と人の縁（えにし）を象徴する、「まーいまーいNaha」と決定した。</p> <p>正式名称は、「那覇市人材育成支援センターまーいまーいNaha」の名称で11月議会で決定された。</p>
市民スポーツ課	令和元年度全国高等学校総合体育大会「感動は無限大 南部九州総体2019」の開催	<p>「響かせろ 我らの魂 南の空へ」の大会スローガンのもと、高校生最大のスポーツの祭典「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」が沖縄、鹿児島、熊本、宮崎の南部九州4県で開催された。那覇市では水泳（飛込・水球）、相撲、なぎなたの3競技4種目を開催。全国各地から結集した高校生トップアスリートたちによる熱戦が繰り広げられた。</p> <p>県勢も大いに活躍し、特になぎなた競技では、開催県である沖縄の出場選手が個人・団体・演技の全部門制覇というインターハイ史上初となる快挙を成し遂げた。</p> <p>本市開催競技に選手・監督・役員・観客等、合計約15,000人が参加した。（7月～8月）</p>
	那覇市スポーツ推進計画の策定	<p>2019(平成31)年3月に、2019年度から2028年度までの10年間を期間とする「那覇市スポーツ推進計画」を策定した。</p>
施設課	那覇市学校施設等長寿命化計画	<p>「那覇市ファシリティマネジメント推進方針（平成27年3月）」に基づき、中長期的な財政負担の低減及び準化、社会情勢の変化やニーズの多様化に配慮した、今後の学校施設等の維持管理・更新等の着実な推進を目指すため、平成31年3月に策定した。</p>
	鏡原中学校体育館・武道場・プール、高良小学校校舎の完成	<ul style="list-style-type: none"> ・鏡原中学校体育館、武道場及びプール 鏡原中学校の体育館は、築後約40年が経過し、老朽化が顕著となっていたことから建替事業に着手し、今年の3月に完成した。鉄筋コンクリート造、地上4階建てで体育館（1,476㎡）、武道場（300㎡）やプールなどの用途が複合する施設（延べ面積1,886㎡）となっている。地域に開かれた体育館施設として、多くの市民に利活用されることが期待されるとともに、災害時には、地域住民の一時避難場所としての役割が果たせるよう計画されている。今後のスケジュールとして、運動場を令和2年度に工事完了予定としている。 ・高良小学校校舎 高良小学校の校舎は、築後約40年が経過し、老朽化が顕著となっていたことから建替事業に着手し、今年の7月に完成した。鉄筋コンクリート造、地上4階建てで校舎（8,518㎡）、プール（110㎡）、共同調理場（520㎡）、地域学校連携施設（125㎡）、児童クラブ（125㎡）などの用途が複合する施設（延べ面積9,395㎡）となっており、誰もが利用しやすい施設となるようバリアフリーにも配慮した。今後のスケジュールとして、屋内運動場を令和3年度、運動場を令和4年度に工事完了予定としている。
中央公民館	優良公民館表彰（文部科学大臣表彰） （繁多川公民館）	<p>・12月17日、開館15年目を迎えた繁多川公民館が、第72回優良公民館として文部科学大臣表彰を受けることが決定した。地域の特色をいかしたコミュニティ活性化事業を通じた世代間交流やエジプトに公民館を作る活動などが評価されたもので、平成22年に続き2度目の受賞。</p>
	「全国公民館インターネット活用コンクール」最優秀賞 （若狭公民館）	<p>・12月25日、若狭公民館が「第3回全国公民館インターネット活用コンクール」において最優秀賞を受賞した。ホームページやメールマガジンによる広報やネット中継による講座の実施など、インターネットを活用した多彩な事業展開が認められた。同コンクールは隔年で開催されており、若狭公民館は平成27年の第1回から3回連続の最優秀賞となった。</p>

課名	項目	内容
中央図書館	新図書館システムの稼働	平成31年1月11日より新図書館システムが稼働しました。これにより、システム安全性の強化等が行われ、より快適・安全に図書館の利用ができるようになりました。 また、新図書館システムの新たな機能として『ブックリスト』機能を追加しました。これは、任意でユーザー登録をすることにより、利用者自らが今まで読んできた本やこれから読みたい本のリスト等を作成することができる機能です。より時代のニーズに沿った、充実した図書館サービスが提供できるようになった。
学校教育課	校務支援システムの導入	校務の効率化を図り、教職員の多忙を軽減し、児童生徒に向き合う時間を確保するために、令和元年11月に市内全小中学校に校務支援システムを導入した。
	学校閉庁日の設定	夏季休業期間（夏休み）に教職員が休みやすい環境を整えるため、毎年8月第2週の水・木・金曜日は、教育活動を原則行わない日として定めた。
教育相談課	Winterていんぼう 小祿分教室開設	学習支援室「ていんぼう」事業では、教育相談課へ継続相談で来所する中3生や、進学希望のある過卒生に入試に向けた学習支援を行っている。 12月からは夜間Winterていんぼうとして学習支援を行ってきたが、遠方からの来所が困難な生徒への対応として、今年度より那覇市総合福祉センターの会議室を借用し、小祿分教室を開設した。 真和志庁舎と小祿分教室において、月・水・金と火・木をで交互に実施することで、2週間で5日間の学習支援を実施している。
学校給食課	高良学校給食センターの新設	高良学校給食センター（受配校：高良小学校、宇栄原小学校）を新設し、令和元年8月26日から給食を開始した。
教育研究所	学校ICT環境の充実 (電子黒板の整備)	平成31年3月に、市内小学校の第1学年から第4学年までの全普通教室に電子黒板の導入を行った。これを以って、市内小中学校の全ての普通教室に、電子黒板の配置が完了した。